

種名	ヤ マ ユ リ				
	Lilium auratum				
					
分類	被子植物単子葉植物綱ユリ科	俗称		生活型	多年草
分布	本州(近畿地方以北)に分布する。				
形態	鱗茎は偏球形、径 6～10 cm、茎は直立し、高さ 60～150 cm、断面は円形、しばしば上部は曲がる。葉は披針形、先端は細くなり鋭頭、基部は円形、葉柄があり、長さ 10～15 cm、幅 3～4 cm。花は茎上部の葉腋に単生またはまばらな総状花序とあり、数個ときには訳 10 個ほどつく。				
類似種					
生息場所	暖帯、温帯の草原、土手、林縁、明るい林内、伐採跡地などに生える。				
繁殖	花期は 6～8 月。花被片は白色、赤褐色の斑点があり、長さ 10～18 cm、中脈に沿って黄色の線があり、狭卵形～広披針形。外花被片は内花被片より幅が狭く、ともに先端は反曲する。蒴果は長楕円形で長さ 5～8 cm。				
他生物との関係					
配慮のポイント	観賞用に栽培され、鱗茎は食用される。				
引用文献：『改訂新版 世界文化生物大図鑑 植物 単子葉植物』を改変					